

第4次計画の成果指標

「基本目標1 男女共同参画社会を支える意識の形成」の成果指標

目標とする指標項目	基準年 令和2年	令和3年	令和4年	目標 令和8年	出典
社会全体として男女が平等だと思う市民の割合	18.6%	19.5%	20.0%	40.0%	真岡市民意向調査
男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている人の割合	52.1%	54.5%	51.7%	75.0%	真岡市民意向調査
夫婦間の役割分担の満足度 ※満足+やや満足	69.9%	--	--	80.0%	真岡市男女共同参画社会に関する調査

基本目標1に対する庁内推進会議での意見

男女共同参画に関する情報発信は、幅広い世代に対して定期的に行っており、また教育現場における学習の機会、市民向けの学習機会も定期的に実施はしているが、男女の固定的役割分担意識の解消まではつながっていない結果となった。引き続き、男女共同参画の理解促進と教育の充実に向けて事業を推進するとともに、より多くの市民に対し男女共同参画意識の形成のため、男女の固定的な性別役割分担やそれに基づく社会習慣に捉われない情報発信を全庁的に行っていく。

基本目標1に対する審議会の意見

・教育現場における男女共同参画の学習は重要なものであるが、それだけでは限界があり、並行して各々の家庭での日常的な男女共同参画の教育も非常に重要である。社会には、未だにジェンダーバイアスが残り、学校卒業時にギャップを感じる若い人たちがたくさんいる。男女共同参画の理解促進のために、継続して情報発信を行っていく必要があり、この男女共同参画の考えが幅広い世代に浸透すべきだと思う。
・県のホームページからダウンロードができる教育資料(人権に関する社会教育指導資料)がある。子どもたちが出会った人権問題について、どう考えていったら良いか指導する資料だが、こういったものを広げてもらい、充実した教育活動に生かしてほしいと思う。また、青年向けもあるので、公民館での講座などをやるにあたって、活用いただきたい。

「基本目標2 あらゆる分野における男女共同参画の推進」の成果目標

目標とする指標項目	基準年 令和2年	令和3年	令和4年	目標 令和8年	出典
職場で男女平等になっていると思う市民の割合	28.0%	--	--	40.0%	真岡市男女共同参画社会に関する調査
男性の育児休業取得率	--	--	--	30.0%	真岡市男女共同参画社会に関する調査
審議会・委員会等の女性委員構成割合	28.5%	29.2%	29.2%	33.0%	前年度の実績
市役所の管理的地位に占める女性職員の割合 ※部課長職以上	2.2%	10.9%	10.9%	15.0%	実績値

基本目標2に対する庁内推進会議での意見

就労の場における男女共同参画の推進は、各課において働きかけはしているものの、最終的な結果に結びついていないのが現状である。チラシやリーフレットを配布するだけでなく、働きかけそのものの内容を改めて精査し、目標達成に対して効果のある事業を行う必要がある。審議会・委員会等における男女共同参画の推進においても、女性の登用は未だが少ない現状であり、特に地域における意識浸透のための施策が必要である。引き続き、男女共同参画の意識醸成のための研修や学習機会の提供に力を入れていく。

基本目標2に対する審議会の意見

・社会に出ると、拭いきれないジェンダーギャップがまだまだ存在するが、これからの世代のためにも、男女共同参画を実現するための研修や学びの場を、事業所や働く世代に提供する必要がある。
・男女共同参画の推進に関して、企業に表彰制度を設けるということに違和感がある。事業者は、男女問わず結果を出したら当然のように評価するといった、自然体の姿が求められるべきだと感じている。表彰制度がなくても、当たり前のことをやる意識に社会全体も学校も切り替えてもらいたい。

「基本目標3 暴力の根絶と安心して暮らせるまちづくりの推進」の成果目標

目標とする指標項目	基準年 令和2年	令和3年	令和4年	目標 令和8年	出典
配偶者等からの暴力を受けた際に相談できる機関を知っている人の割合	55.5%	58.1%	54.8%	70.0%	真岡市民意向調査
配偶者等から受けた暴力についてどこ(誰)にも相談しなかった人の割合	55.1%	--	--	44.0%	真岡市男女共同参画社会に関する調査
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	84.1%	88.0%	87.6%	88.0%	真岡市民意向調査

基本目標3に対する庁内推進会議での意見

暴力の根絶に関する啓発活動や支援は、性別年代に関わらず幅広い市民に対して啓発をしているものの、相談事業の情報が届いていない可能性があるため、周知方法の工夫も検討したい。困難な状況に置かれている方への支援も引き続き実施し、より周知にも力を入れていく。心身の健康づくりについては、引き続き新型コロナウイルス感染症前の水準と変わらない支援を続け、市民の生きがいづくりに力を入れていく。

基本目標3に対する審議会の意見

・家庭の問題や家族関係について、困っている人、悩んでいる人はたくさんいると思う。そういう人々に、更に手を差し伸べることができるような企画をこれから検討してほしい。男女ともに、様々な環境に置かれている人々のために、継続的な情報発信ときめ細かな事業実施を希望する。